

# 平成28年度 第3回三郷区地域協議会

## 次 第

日時：平成28年7月11日(月)午後7時～  
会場：三郷地区公民館 集会室

### 1 開 会

### 2 議題等の確認

### 3 報告

(1) 平成28年度地域活動支援事業の採択結果について (5分)

### 4 議題

(1) 地域活動支援事業の審査・採択の基本的なルールについて (30分)

(2) 三郷区地域協議会の取組と課題等について (30分)

### 5 事務連絡 (5分)

・事務局説明

### 6 閉 会

平成28年度地域活動支援事業内定一覧（三郷区地域協議会）

資料No. 1

【三郷区】の地域活動資金の配分枠： 4,900千円

※ 当日の採点委員数は12名

順位	整理No.	事業名	提案者名	事業費(千円)	補助希望額(千円)	優先採択方針	評価結果										地域協議会の審査結果	特記事項	左記を踏まえた内定	
							基本審査		共通審査										決定区分	補助額(千円)
							○の人数	×の人数	公益性	必要性	実現性	参加性	発展性	合計	平均点					
1	10	三郷地区大運動会事業	三郷体育振興会	445	445	○	12	0	56	51	53	52	52	264	22.0	採択	補助希望額どおり445千円で採択	採択	445	
2	8	下四ツ屋町内防犯灯設置により安全防犯を図る事業	下四ツ屋町内会	65	64	○	12	0	56	57	52	48	49	262	21.8	採択	補助希望額どおり64千円で採択	採択	64	
3	2	小学生通学路の安全整備事業	西松野木町内会	1,426	1,425	○	11	1	57	56	49	49	50	261	21.8	採択	採択事業の補助希望額の合計額が、三郷区の予算配分額を上回っていたことから、補助額を1,323千円に減額し採択	採択	1,323	
4	1	三郷地区の歴史・史跡を研究する事業	三郷地区の歴史・史跡を研究する会	581	580	○	12	0	51	46	50	40	47	234	19.5	採択	補助希望額どおり580千円で採択	採択	580	
5	9	下四ツ屋町内会安全・安心事業	下四ツ屋町内会自主防災組織	36	35	○	9	3	50	49	46	43	42	230	19.2	採択	採択事業の補助希望額の合計額が、三郷区の予算配分額を上回っていたことから、補助額を27千円に減額し採択	採択	27	
6	13	三郷の熱い夏をみんなで楽しもう事業	三郷夏祭り実行委員会	743	742	○	10	2	44	43	47	43	44	221	18.4	採択	採択事業の補助希望額の合計額が、三郷区の予算配分額を上回っていたことから、補助額を626千円に減額し採択	採択	626	
7	3	さんごう防災DAY事業	三郷地区次世代活性化委員会	374	373	○	11	1	46	47	43	40	41	217	18.1	採択	採択事業の補助希望額の合計額が、三郷区の予算配分額を上回っていたことから、補助額を346千円に減額し採択	採択	346	
8	5	三郷小学校課外活動支援事業	三郷小学校後援会	435	434	○	10	2	43	41	46	39	44	213	17.8	採択	採択事業の補助希望額の合計額が、三郷区の予算配分額を上回っていたことから、補助額を366千円に減額し採択	採択	366	
9	6	さんごう夏っ子クラブ事業	ENJOY35(さんごう)	219	218	○	11	1	40	39	43	39	42	203	16.9	採択	採択事業の補助希望額の合計額が、三郷区の予算配分額を上回っていたことから、補助額を203千円に減額し採択	採択	203	
9	11	いきいき健康ウォーク事業	三郷体育振興会	255	254	○	10	2	39	40	45	37	42	203	16.9	採択	採択事業の補助希望額の合計額が、三郷区の予算配分額を上回っていたことから、補助額を214千円に減額し採択	採択	214	
11	7	さんごう仲間づくり事業	ENJOY35(さんごう)	266	265	○	8	4	40	39	42	37	39	197	16.4	採択	採択事業の補助希望額の合計額が、三郷区の予算配分額を上回っていたことから、補助額を179千円に減額し採択	採択	179	
12	12	ウィンターフェスティバル事業	三郷体育振興会	478	470	○	8	4	42	40	41	33	37	193	16.1	採択	採択事業の補助希望額の合計額が、三郷区の予算配分額を上回っていたことから、補助額を317千円に減額し採択	採択	317	
13	4	布施長者伝説継承事業	三郷地区次世代活性化委員会	277	276	○	9	3	41	36	41	33	37	188	15.7	採択	採択事業の補助希望額の合計額が、三郷区の予算配分額を上回っていたことから、補助額を210千円に減額し採択	採択	210	
合計				5,595	5,581															

※減額し採択した10件の事業には、次の付帯意見を付して結果を通知「採択した補助額により確実に事業を完遂してください。」

	内定件数	採択額計
合計	13件	4,900千円
	予算残額	-

## H28年度 地域活動支援事業 **三郷区** 審査・採択の基本的なルールについて

### 1. 審査の基本的なルール

#### (1) 提案事業の採点者

- 基本審査の最初の判定者は、会長を除く事業説明に出席した全委員とし、会長は、最初の判定で賛否同数となった際に、最終判断を行うものとする。
- 基本審査後の採点資格者は、会長・副会長を含む全委員とする。
- 採点者は、事業説明に出席した委員とし、原則、全ての提案事業について採点を行うものとする。  
※委員が所属する団体等が提案した事業であっても採点を辞退することは認めない。

#### (2) 提案事業の通知

- 事務局は、事業募集終了後速やかに、「申請概要一覧」を作成し、申請者による「事業提案書」とともに、各委員に送付する。

#### (3) 各委員による採点

- 各委員は、事前に送付された「事業提案書」を確認し、提案者による事業説明の際に質問する事項等をまとめる。(仮採点しておくことが望ましい。)
- 事務局は、予め決められた日(後日決定)に地域協議会を開催し、提案者による事業説明を行う。
- 各委員は、提案者による事業説明終了後、事業ごとに採点を行う。
- 採点は初めに、「基本審査票」を使用して、基本審査を行うこととし、「適合・不適合」の別を「基本審査票」に記入する形式とし、記入後に事務局に提出する。
- 事務局は、速やかに基本審査の結果を集計し、地域協議会に報告する。
- 採点委員の過半数(賛否同数により会長が最終判断をした場合を含む)が「不適合」と判断した事業があった場合は、当該事業は、「採点シート」による採点を行わない。
- 基本審査で「適合」と判断された事業については、続けて「採点シート」を使用して、審査項目ごとに採点を行い、得点等を記入した「採点シート」を事務局に提出することとする。
- 各委員による採点結果は、事務局への「採点シート」の提出をもって確定することとし、事後に疑義等が生じて修正は認めないこととする。

#### 【参考】三郷区の採点方法

- 審査は、「基本審査票」と「採点シート」に基づき、2段階で書類により行う。
- 第1段階の「基本審査票」では、「○(適合)か×(不適合)」を記入する。
- 「基本審査票」で「不適合」が過半数に至っている場合は、「採点シート」による採点を行わない。(同時に不採択となる)
- 第2段階の「採点シート」では、項目内の審査の視点ごとに、視点との適合度合いを「よい、普通、悪い」などでチェックする。
- 上記の評価を踏まえて、審査項目ごとに採点(5点満点)を行う。  
※審査項目ごとの採点は、1点から5点の範囲で行う。  
※全ての視点を評価し、5項目すべてに得点を記入する。

#### (4) 提案事業の得点等の算出

- 事務局は、「採点シート」による事業ごとの得点を集計し、全採点者の点数の合計点を提案事業の得点とする。
- ただし、事故等により、事業ごとに採点者数が異なることとなった場合は、全採点者の点数を単純平均したものを提案事業の得点とする。  
※単純平均した結果は、順位を判別できる範囲で小数点以下の端数処理を行う。

#### (5) 提案事業の順位の確定

- 優先採択事業とそれ以外の事業に区分し、それぞれ上記(4)で算出した得点の高い事業順に並べる。
- 提案事業の順位は、得点に関わらず、優先採択事業をそれ以外の事業よりも上位とする。
- この結果をもって、提案事業の順位を確定し、以後順位の変更は行わない。
- 事務局は、提案事業の順位確定後、速やかに「提案事業順位表」をまとめ、地域協議会に報告する。(原則、事業説明の当日とする。)

#### 【参考】提案事業の順位の確定イメージ

順位	提案事業(分野)	基本審査	優先採択	総得点
1	事業A(福祉)	○	○	100
2	事業B(イベント)	○	○	90
3	事業D(観光振興)	○	○	80
4	事業F(文化)	○	○	70
5	事業G(施設整備)	○	○	50
6	事業C(イベント)	○	○	30
7	事業H(施設整備)	○	×	60
8	事業I(施設整備)	○	×	40
-	事業E(施設整備)	×	-	-

### 2. 採択の基本的なルール

#### (1) 採択事業の検討

- 基本審査で採点委員の過半数が「不適合」と判断した事業については、当該事業は不採択とする。
- 採択事業は、提案事業の順位が確定した後、上記の事業を除外した上で、三郷区の予算を目安として委員間で協議し、検討することとする。
- 提案事業は、審査により確定した順位で採択するものとする。
- 採択の当落線以上に複数の提案事業が同順位(同点)で並んでいる場合は、当該事業間の優劣をつけることもできることとする。
- 上記の場合であっても、当該事業以外の順位には影響を及ぼさないこととする。

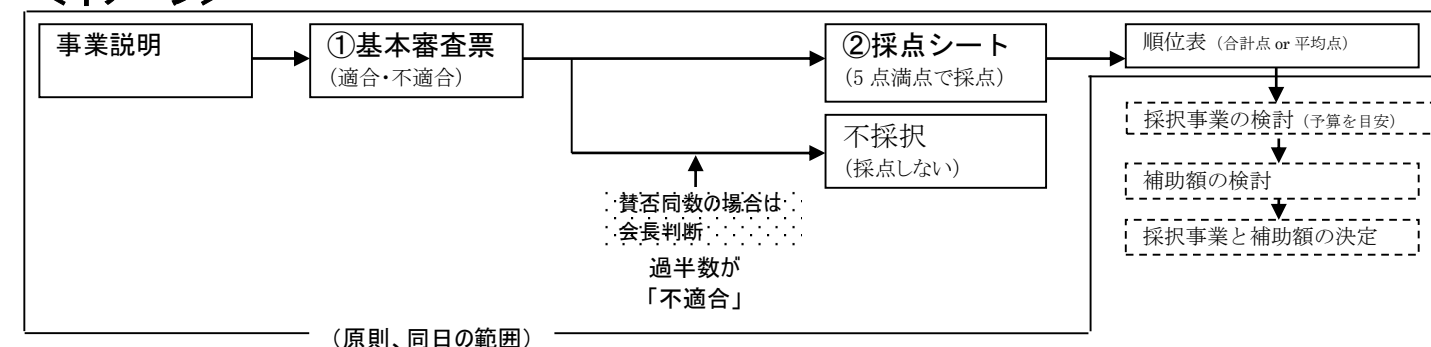
#### (2) 補助額の検討

- 個別の事業への助成額は、上記(1)の採択事業に係る検討結果を踏まえ、地域協議会で検討することとする。
- ※採択事業の補助希望額の合計が、三郷区の予算を上回る場合は、補助金の配分方法について検討する必要がある。

#### (3) 採択事業と補助額の決定

- 地域協議会は、採択事業と補助額の検討結果を、まちづくりセンター長に報告する。
- 事務局は、速やかに採択事業と補助額の内容を市長に報告する。
- 事務局は、採択事業と補助額の決定後、速やかに結果を公表する。

#### <イメージ>



### 3. その他

- 補助額の上限は三郷区の予算の範囲内とする。下限は1万円とする。

【三郷区】

地域活動支援事業 基本審査票 採点シート①

【注意】記名しないこと

【情報】

1 採点対象

整理 No.	
事業名	
提案者	(名称) (代表者)

2 優先採択事業

※事務局が判断し、記載しています。

・優先採択事業に該当しているか	該当○/非該当×
-----------------	----------

■基本審査

※右の「適合性」欄のいずれか一つに☑を入れてください。

・地域活動支援事業の目的と合致しているか (地域の課題解決・活力向上に資するものか)	適合性 <input type="checkbox"/> 適合する <input type="checkbox"/> 適合しない
---	--

【三郷区】

地域活動支援事業 採点シート②

【注意】記名しないこと

《ご注意》

○審査の当日に「基本審査票」にて、過半数の“不適合”となった場合は、下記は集計されません。  
○ただし、当日速やかに採点ができるよう、当日までに仮採点をしておいてください。

【情報】

1 採点対象

整理 No.	
事業名	
提案者	(名称) (代表者)

2 採点内容

(1) 優先採択事業

※事務局が判断し、記載しています。

・優先採択事業に該当しているか	該当○/非該当×
-----------------	----------

■共通審査基準

※採点は、1点から5点の5点満点です。(0点はナシ)

※基本審査で「適合しない」と判断した委員も、採点は全て行ってください。

審査項目	審査基準	メモ欄※	配点	採点欄
		良い 普通 悪い		
①公益性	・提案事業の成果が広く地域に還元されるものか ・全市的な方向性と合致しているか ・提案者以外の市民や事業者、団体等に不利益を与えるものではないか	_____ _____ _____	5	
②必要性	・地域の実情や住民要望に対応したものか ・地域の課題解決、あるいは活力向上に有効な取組であるか ・緊急性の高い提案事業であるか ・ほかの方法で代替できないものであるか	_____ _____ _____ _____	5	
③実現性	・目標(達成すべきこと)や事業内容が明確なものか ・関係者との合意形成や組織内部での実施態勢が整っているか ・資金調達の規模や時期に無理はないか	_____ _____ _____	5	
④参加性	・提案事業の実施に当たり、提案者に限らず多くの住民等の参加が期待できるものか	_____	5	
⑤発展性	・新しい発想が感じられる取組や、先進的な取組であるか ・提案団体は、信頼性、将来性、継続性はあるか ・事業の終了後における継続性や自立性、発展性は期待できるか	_____ _____ _____	5	
合計			25	

※メモ欄は審査の目安としてご自由にお使いください

# 三郷区地域協議会の取組と課題等について

## ○平成 26 年度の協議等の経過

### H26 年度 第 1 回 (H26. 4. 17)

平成 26 年度は、三郷区内の以下の 2 つの課題について協議することとした。

#### ① 地域コミュニティ施設としての三郷地区公民館の現状と課題について⇒ 平成 26 年度に実施

- ・三郷地区公民館を、地域コミュニティ施設としての拠点性を高め、より利用しやすくするために、現状と課題について整理する。
- ・耐震補強工事やトイレの改修などのハード整備に限らず、三郷区にとっての公民館の重要性について様々な観点から議論する。
- ・市に提案すべき内容について集約した後、自主的審議事項の意見書として市に提出する。

#### ② 三郷区内の高齢者世帯の現状と課題について⇒ 平成 27 年度に実施

- ・三郷区内の高齢者世帯の現状の把握と課題の整理を行い、今後、三郷区にとってどのような取組みが必要なのか、何ができるかを検討する。  
(地域活動支援事業の活用、自主的審議事項の提案など)

### H26 年度 第 3 回 (H26. 7. 2)

委員間で意見交換（従来の公民館以外の目的、地域ニーズはないか）。

### H26 年度 第 4 回 (H26. 8. 7)

市担当課から、耐震診断の結果や集会施設の再配置を検討していること、他の公民館における取組事例などについて説明を受ける。

### H26 年度 第 5 回 (H26. 9. 4)

委員間で意見交換（話の中心をどこにするか。耐震化 or 活動活性化 or 複合施設）。

### 地域協議会委員視察研修 (H26. 11. 8)

名立コミュニティプラザと名立地区公民館を視察。

### H26 年度 第 6 回 (H26. 12. 5)

グループ討議を実施（視察の感想、今後の方向性について）。

### H26 年度 第 8 回 (H27. 3. 19) (意見交換会)

地域活動支援事業に関する意見交換会において、三郷地区公民館の高齢者支援活動や防災活動を行う拠点としての整備について意見あり。

## ○平成 27 年度の協議等の経過

### H27 年度 第 1 回 (H27. 4. 16)

方向性…「三郷区の高齢者世帯の現状把握と課題整理を行い、今後三郷区にとってどのような取組が必要なのか、何ができるのかを検討する。」

### H27 年度 第 3 回 (H27. 7. 30)

市高齢者支援課から介護保険制度の改正と、通いの場に関する説明。

### 地域協議会委員視察研修 (H27. 11. 10)

牧振興会（地域支え合い事業）と、牧商工会（配達事業、移動市場）を視察。

### 地域協議会委員視察研修 (H28. 1. 26)

三郷区の「通いの場」(JA 上越) を視察。

### H27 年度 第 6 回 (H28. 2. 18)

委員間で意見交換（視察の感想、高齢者支援の取組について）…詳細を次ページに掲載

## ○H27 年度第 6 回三郷区地域協議会 (H28. 2. 18) 意見交換 主な意見

### 1. 視察の感想

- ① 三郷区の参加者の若さに驚いた。体操に参加し、介護や認知低下の予防にいいと感じた。
- ② 自分はサロンに参加している。同年代の男性もいる。体操のほか、医師の健康相談や指導も時々あり、よい集まりなのでこれからも参加したい。
- ③ 趣味が合うなら、参加者は増えると思う。
- ④ 自分は元気で農作業により体を動かすため、サロンに参加する積極的な意識はない。
- ⑤ 三郷は横のつながりも薄い。全体を束ねる振興会のような組織が必要。
- ⑥ 町内の会合などでサロンの宣伝をしたほうがよい。
- ⑦ 高齢により運転できなくなれば、だれが連れて行ってくれるのか。
- ⑧ 今後地域へ移管されることを考え、人材の育成も必要だと感じた。

### 2. 課題や解決策など

#### <参加について>

- ① 三郷分館だけでなく、各町内を出前開催で回り参加の入り口を広げたほうがよい。
- ② 地域で行う場合、可能であれば土日に開催するのも人を集める一つの方法。
- ③ 元気で年寄扱いされたくない人も予防と考えて早い段階で動いたほうがよい。
- ④ サロン参加者が農作業に出る年代であり、よほどの魅力がないと参加しない。
- ⑤ 三郷分館まで距離のある町内だとなかなか参加できない。
- ⑥ 車を運転できない方の参加が一番の課題。
- ⑦ 牧区のように車両を所有し参加者を送迎する方法もあるが、そのためにまずは母体を作ることが必要。

#### <地域で実施する場合の組織づくりについて>

- ① 各団体と協議して、三郷区の振興協議会などを作ればまとめられるのではないか。
- ② 今の土台を作った J A と各町内が協議体をつくり実施したほうが、スムーズに行くのでは。
- ③ 各町内の民生委員と連携して支援員を養成し、三郷区全体の支援員の団体を核に J A と話をしていくのが良いのではないか。
- ④ 既存の組織の一部を格上げする方法もある。
- ⑤ いろいろな年代の人たちの集まりとなると、運営に長けた人がある程度いないとうまくいかない。
- ⑥ 三郷地区として一つの旗の元にまとめ、皆で協議をしてさまざまな事業に一人でも多くの参加者が出れば活性化する。
- ⑦ 民生委員や J A に来てもらって話しあってもよい。

#### <今後に向けて>

- ① 町内会長連絡協議会でも高齢化の課題があり、地域協議会との方向性の一致を感じた。
- ② 次期委員に引き継ぎ、一つの課題として自主的審議な取組を進めて行ったらよいと思う。